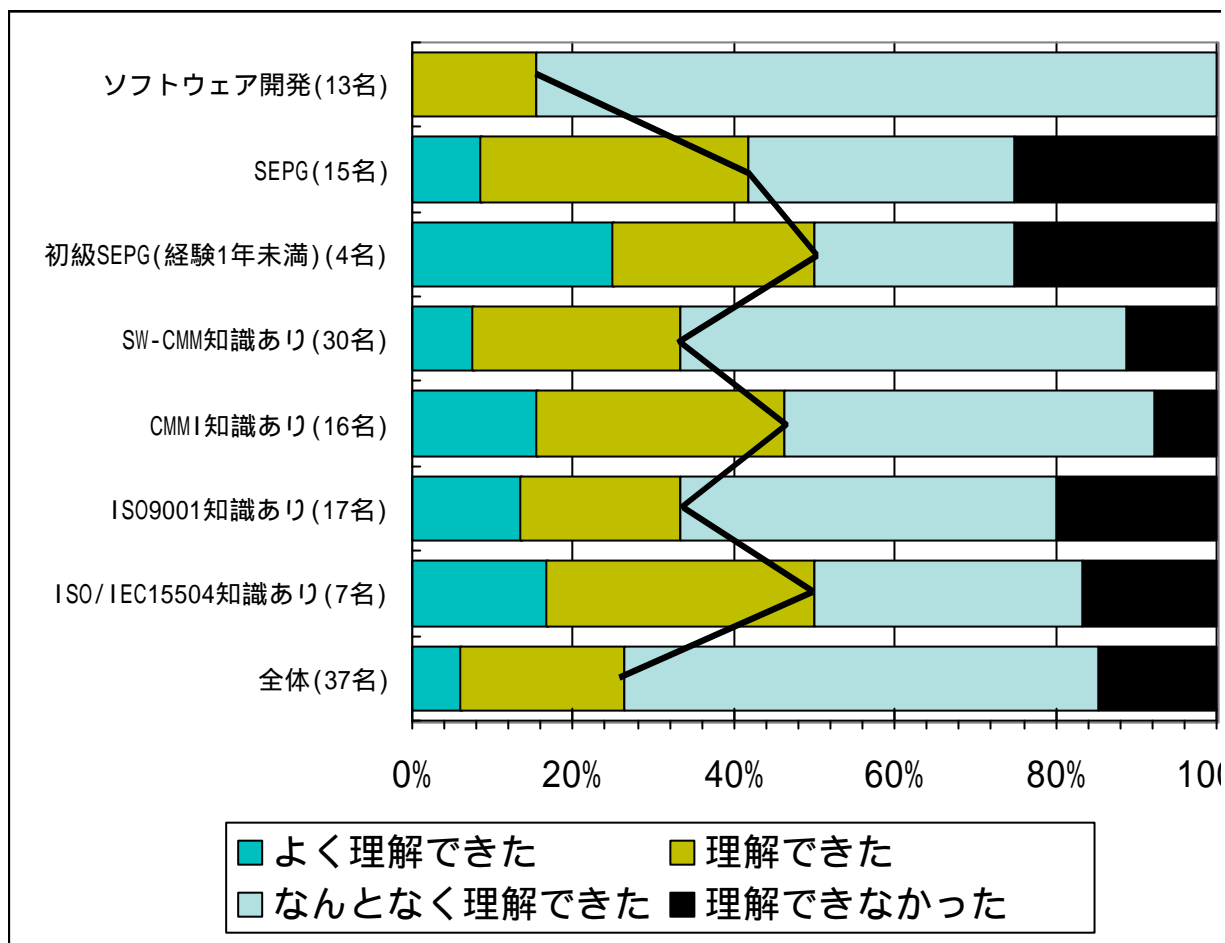


付録B 試行結果



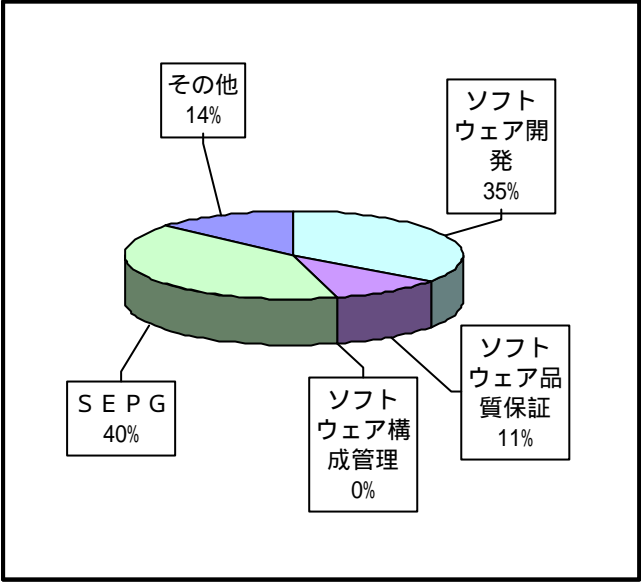
図B - 1 ガイドによるCMMI理解効果

表B - 1 アンケート項目

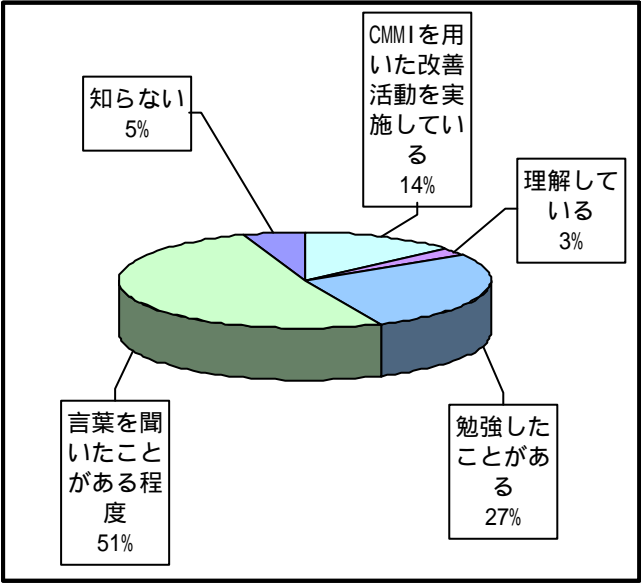
質問	
Q1	あなたの職種をお答えください。
Q2	CMM (SW-CMM V1.1)をどの程度知っていますか。
Q3	CMMIをどの程度知っていますか。
Q4	ISO-9000をどの程度知っていますか。
Q5	ISO/IEC15504をどの程度知っていますか。
Q6	Q2～Q4の何れかで「改善活動を実施している」と回答された方へ。 あなたが、改善活動に参加されてからどれくらいになりますか。
Q7	このガイドを読んで、CMMIの概略が理解できましたか。
Q8	このガイドを読んで、PA間の関係が理解できましたか。
Q9	このガイドを読んで、各PAが理解できましたか。
Q10	このガイドを読んで、理解できたPAの上位3つのPAは何でしたか。
Q11	このガイドを読んで、理解できなかったPAの上位3つのPAは何でしたか。
Q12	CMMIはあなたの組織のプロセス改善に有効であると思いますか。
Q13	CMM(SW-CMM V1.1)を理解している方にお聞きします。 CMMと比較してCMMIはどの様に感じましたか。
Q14	ISO-9000を理解している方にお聞きします。 ISO-9000と比較してCMMIはどの様に感じましたか。

付録C 試行アンケート結果

1. 回答者



図C - 1 回答者の職種分布



図C - 3 回答者のCMMI理解度

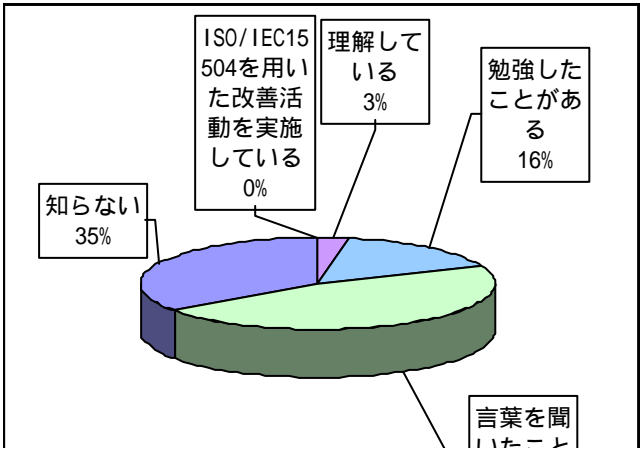




図 C - 5 回答者のISO/IEC15504理解度

2. 「CMMIやさしい入門 ガイド」の有効性

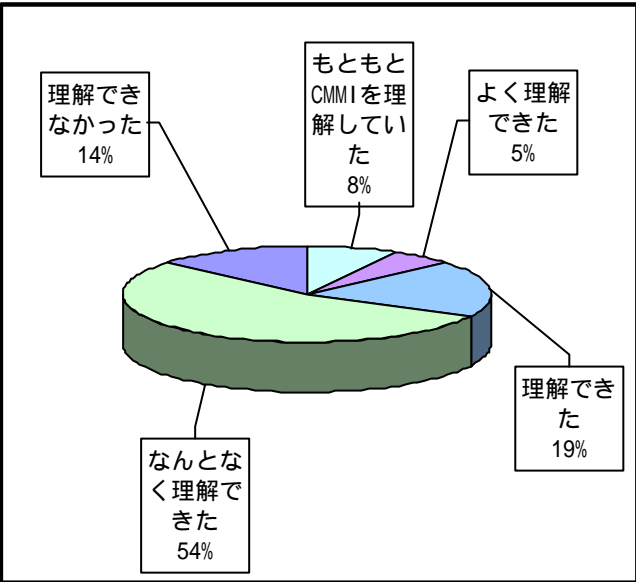


図 C - 7 ガイドによるCMMIの理解

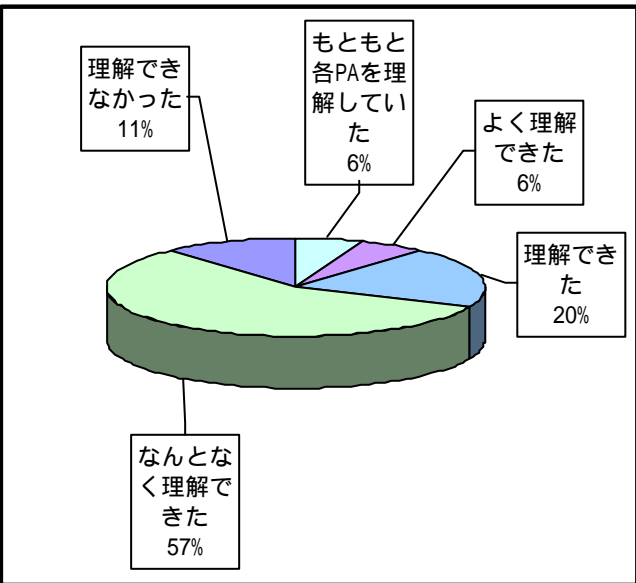
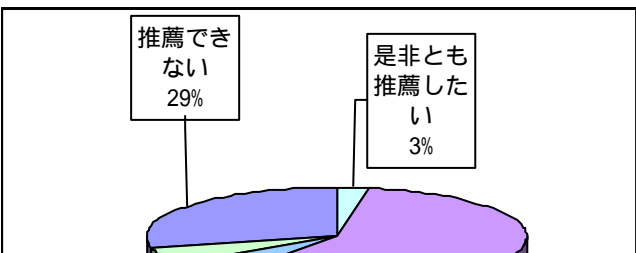
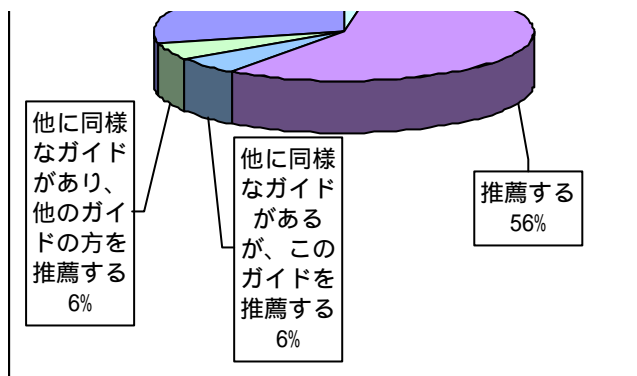
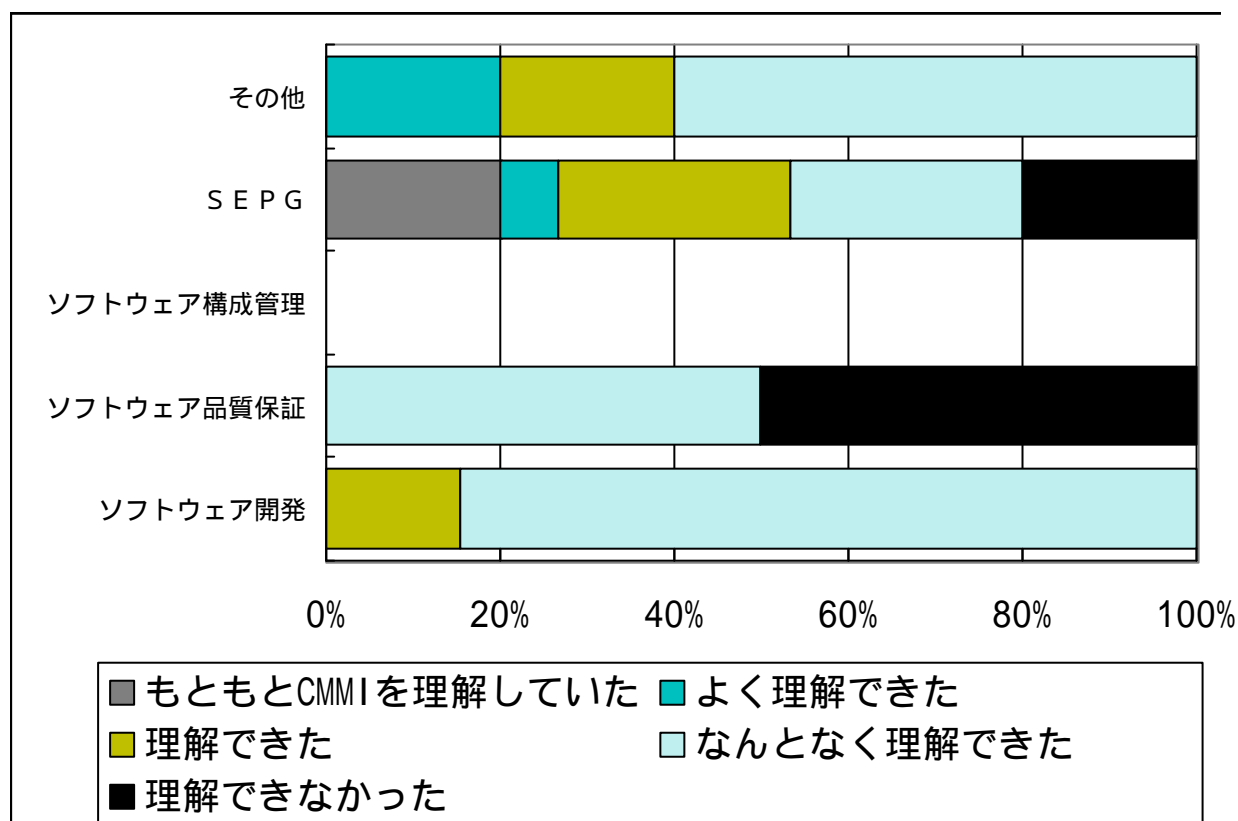


図 C - 9 ガイドによるPA理解度

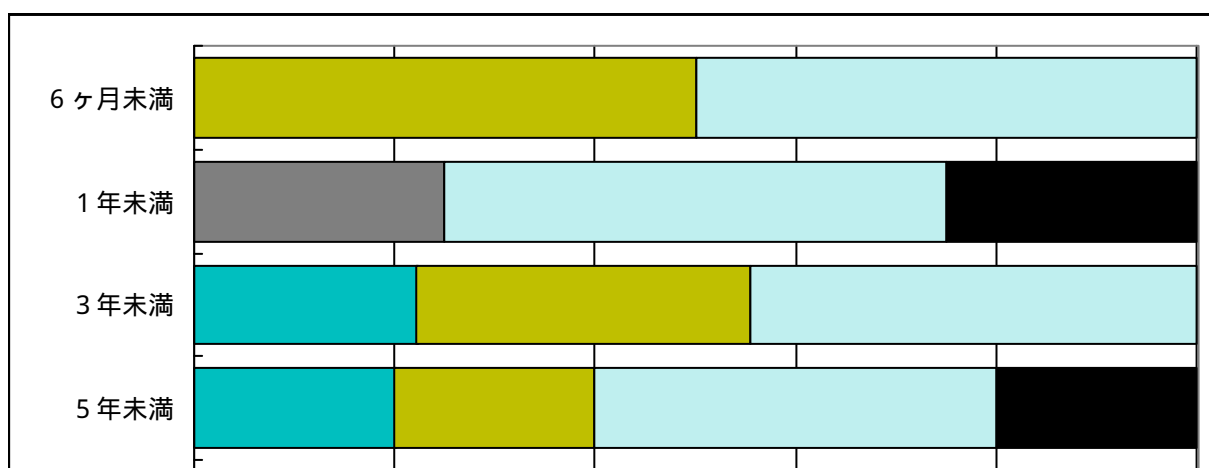




図C - 1 1 他の人に「入門書」として推薦



図C - 1 2 職種別のガイドによるCMMI理解度



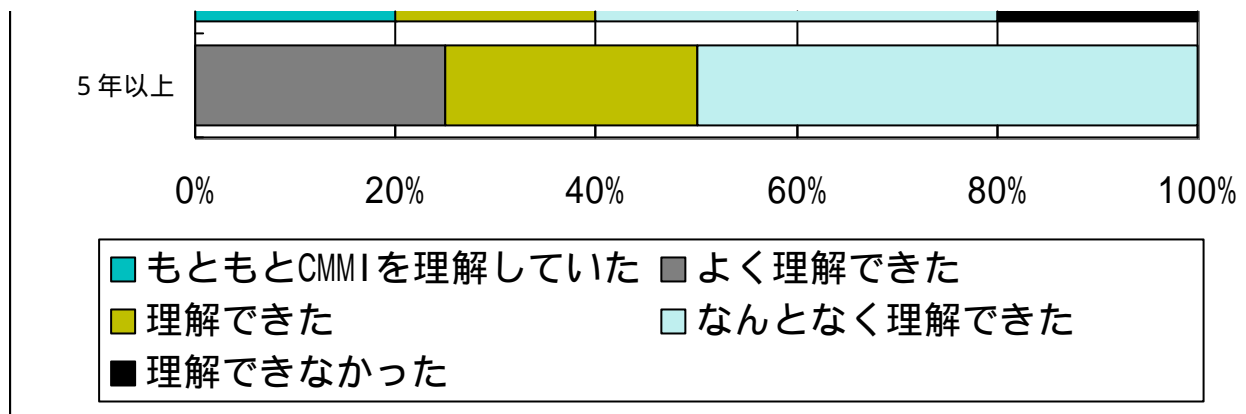
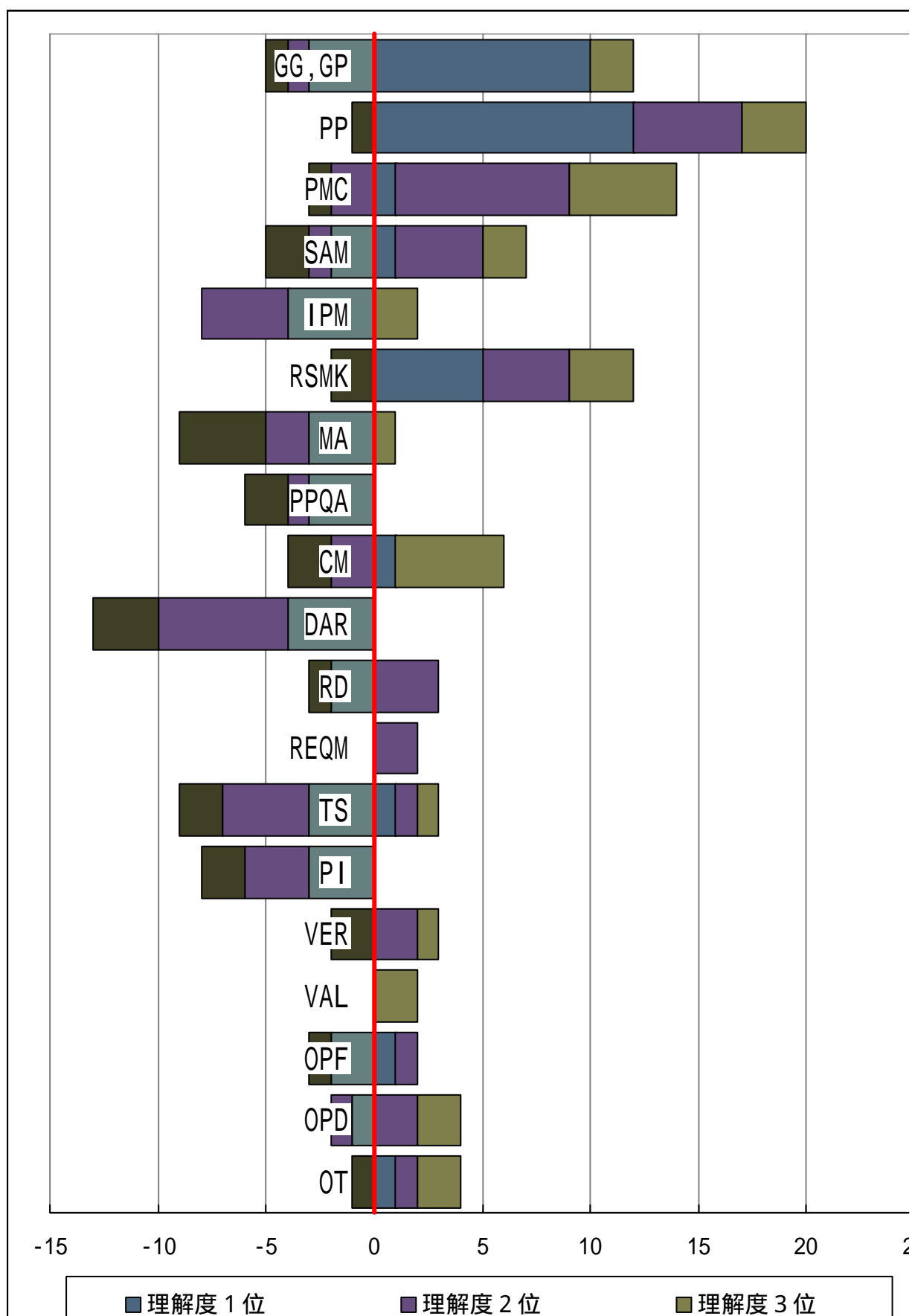


図 C - 1 3 プロセス改善経験年数とガイドに

3 . PA毎の理解度



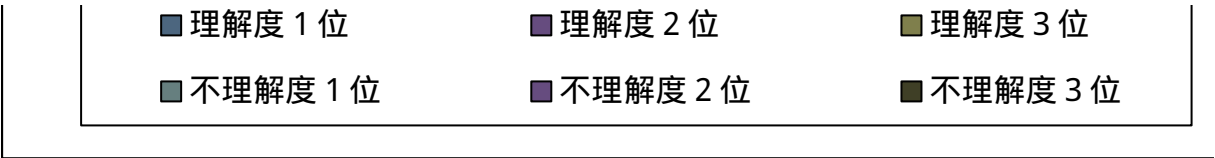


図 C - 1 4 理解できた P A / 理解できなかった

4 . CMMIの有効性

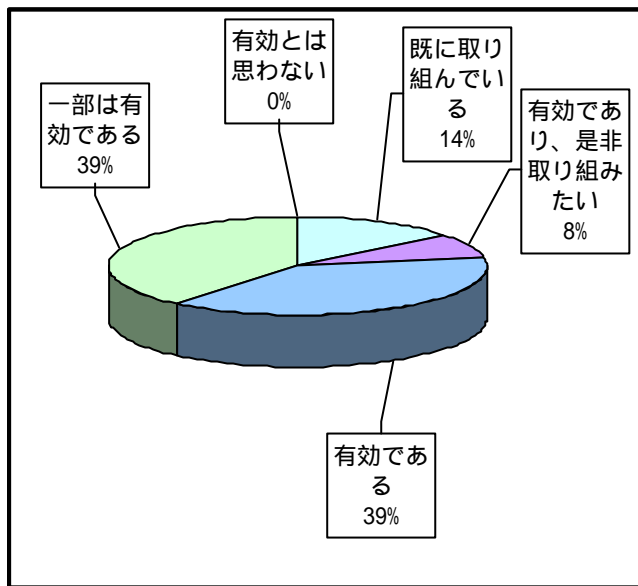


図 C - 1 5 CMMIはプロセス改善に有効か

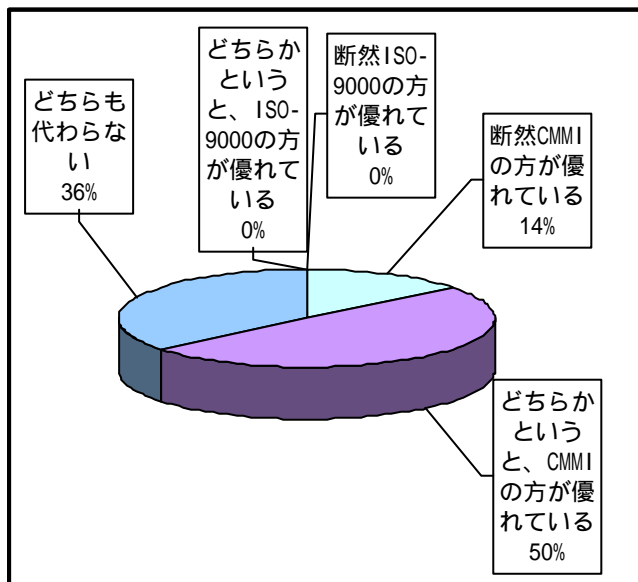


図 C - 1 7 CMMIとISO-9000の有効性比較

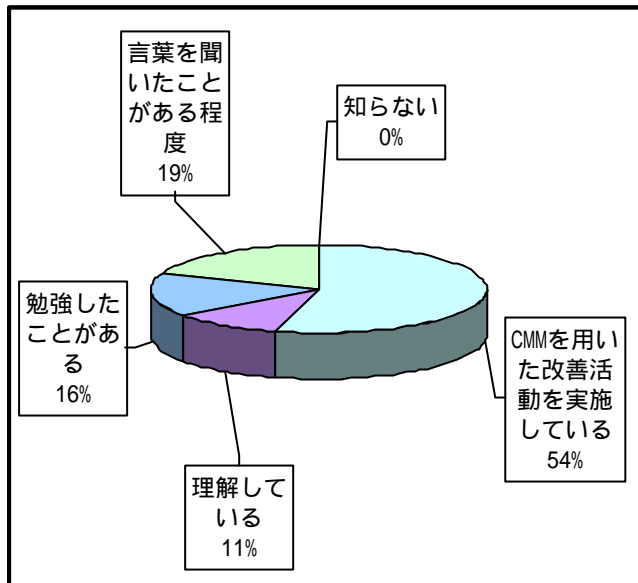


図 C - 2 回答者のCMM(SW-CMM)理解度

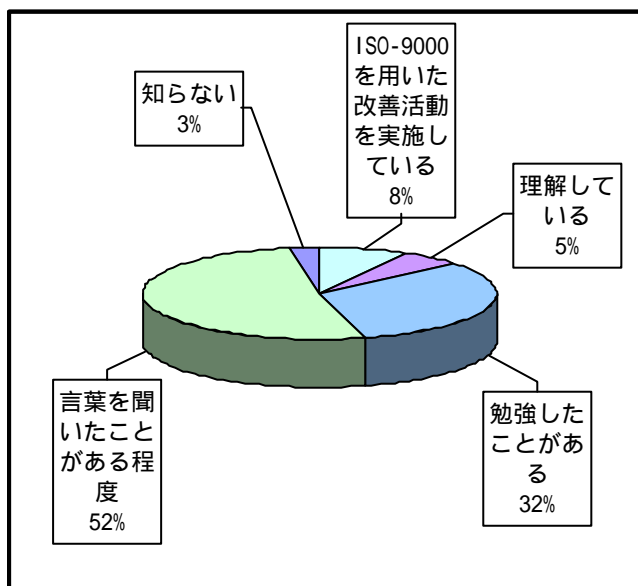


図 C - 4 回答者のISO-9000理解度

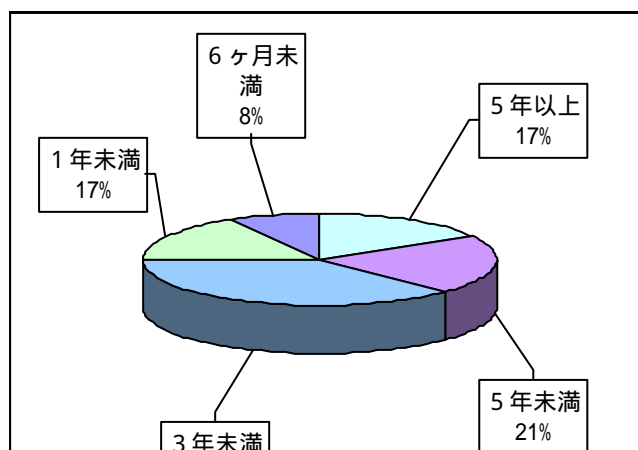




図 C - 6 回答者のプロセス改善活動期間

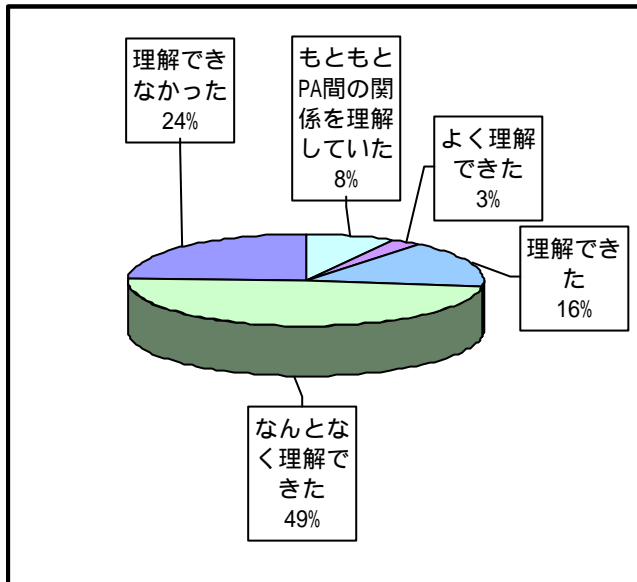


図 C - 8 ガイドによるPA間関係の理解度

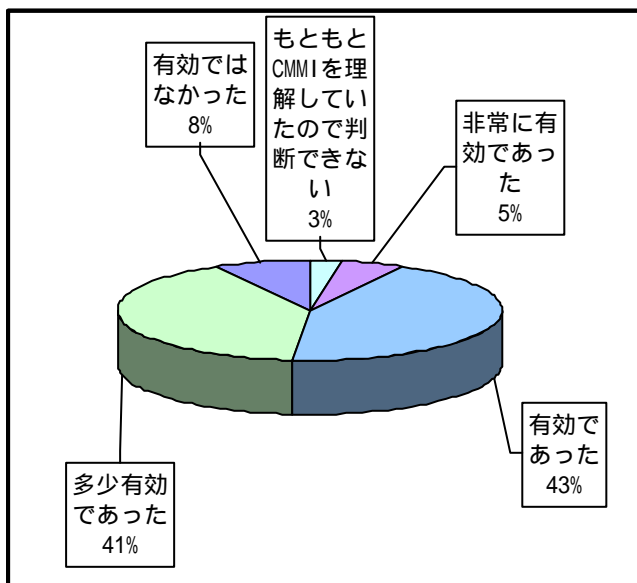
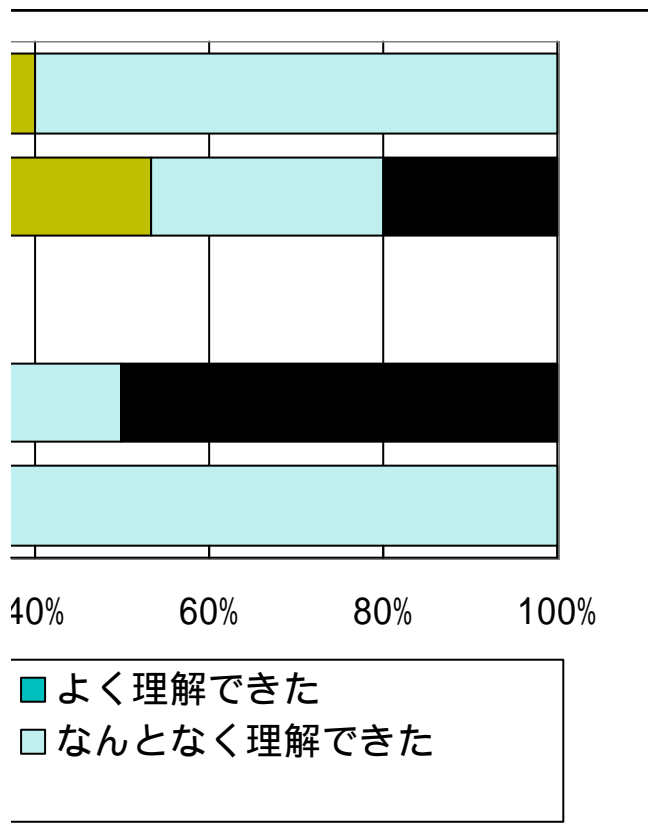
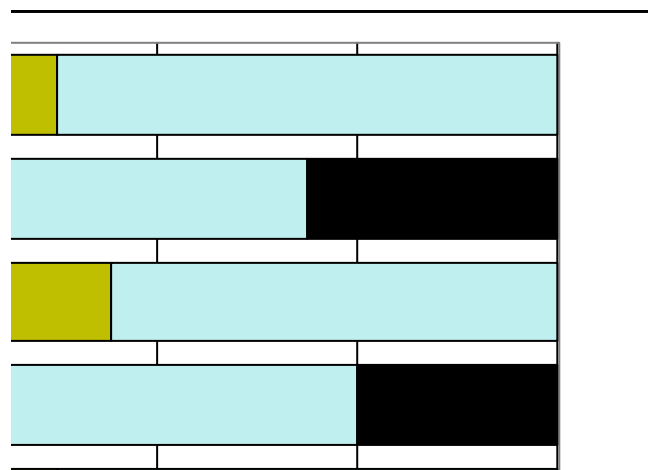
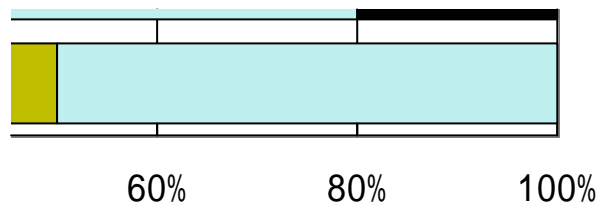


図 C - 10 ガイドのCMMI理解への有効性



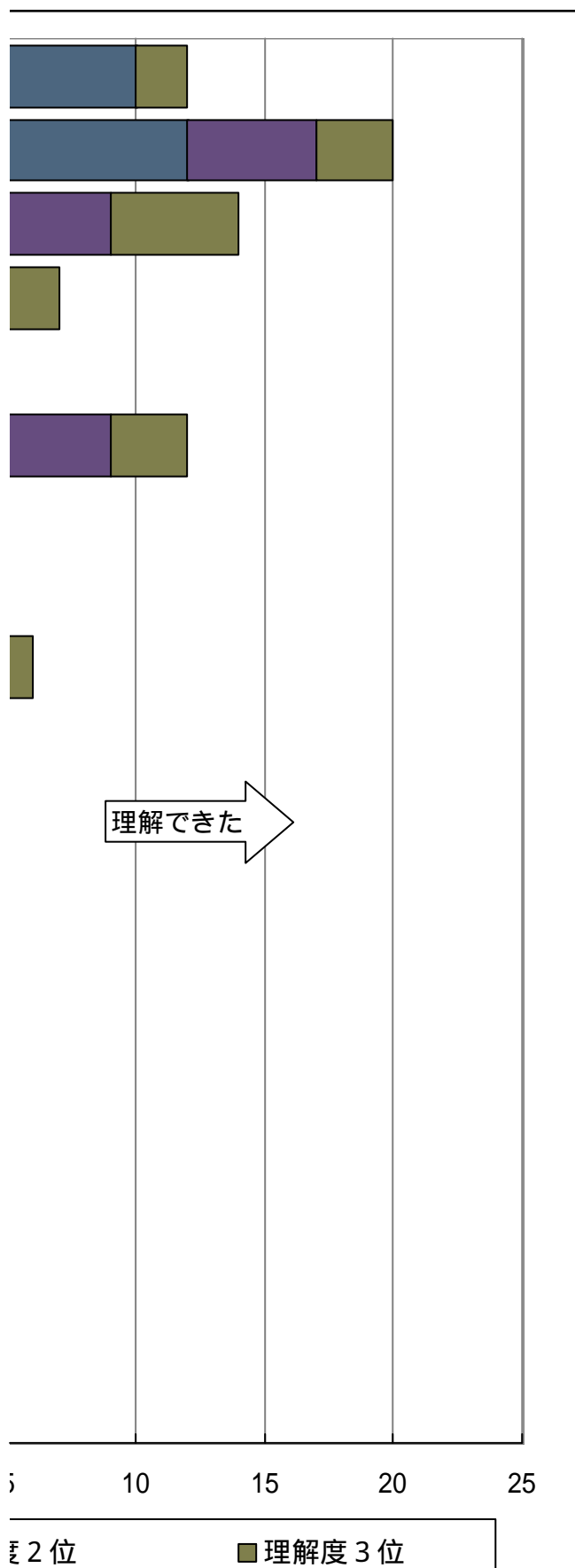
効果





- よく理解できた
- なんとなく理解できた

によるCMMI理解度効果



理解度 2 位	理解度 3 位
理解度 2 位	不理解度 3 位
P A	

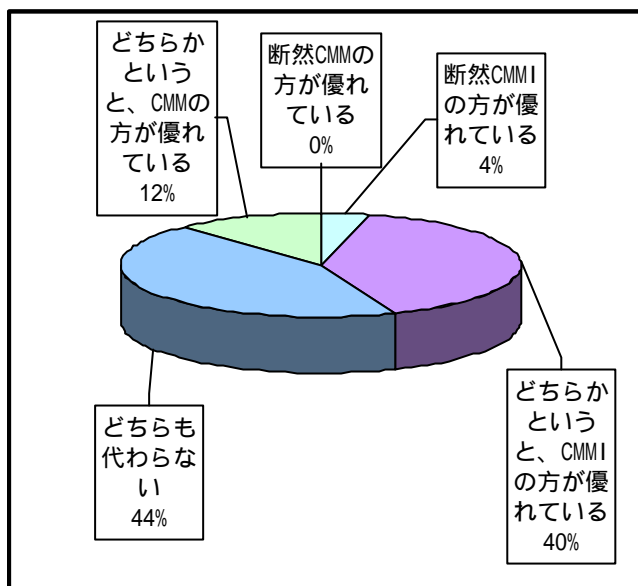


図 C - 1 6 CMMIとSW-CMMの有効性比較

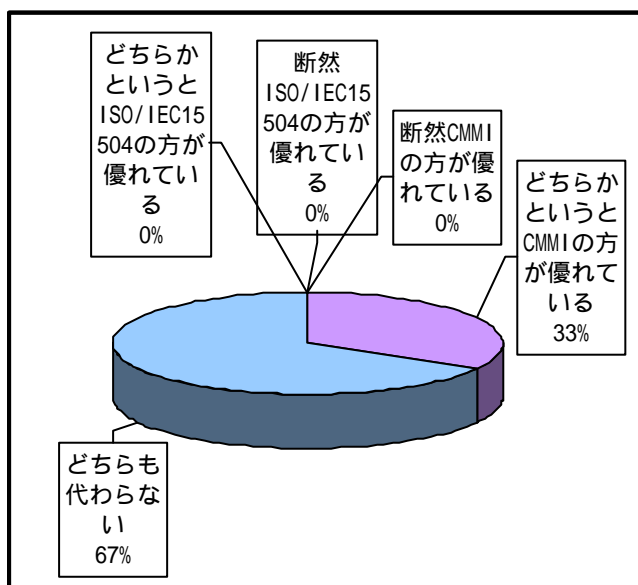


図 C - 1 8 CMMIと15504の有効性比較

Q15	ISO/IEC15504を理解している方にお聞きします。 ISO/IEC15504と比較してCMMIはどの様に感じましたか。
Q16	このガイドはあなたにとって有効でしたか。
Q17	このガイドを「CMMI入門書」として他の人にも推薦できますか。
Q18	このガイドの良かった点をお書きください。
Q19	このガイドの悪かった点をお書きください。

表B - 2 ガイドの良かった点

実施しないことによる懸念事項が記載されている点
実施されない場合の懸念事項が記載されており、納得をしながら読み進めることができた。また、各PAではSGのみが書かれており、ハンドブック的なものとしては読みやす懸念事項が書かれてあることで、それぞれのプラクティスがなぜ必要なのかが理解しやていいると思います。
PAを実施しないことによる懸念がかかっている点
懸念事項は、各PA、SGなどの意図が分かるので良いと思う。 「実施されない場合の懸念」が秀逸。内容への納得度にはややばらつきを感じたが、こは、なぜこのPAがあるの？という心を示していてわかりやすい。 内容がコンパクトにまとまっていて、リファレンスとしても活用できそう。 ポイントが書かれており、良かったと思う。
実施しないことによる懸念事項っていうのが面白い。大変良いと思う。
「実施されない場合の懸念事項」に書かれている内容が ” やらなければこんな事になる改めて認識させられた。 (他のガイドを見たわけではないので、CMMIについてのガイドとしては特殊ではない、ないが、) 4.1項の記述から、CMMIがCMMとは違って共通ゴールと共通プラクティスが分かりやすかった。 「実施されない場合の懸念事項」の記述が具体的、かつ改善のヒントになっているのがキーワードの解説がわかりやすかった。
・「実施しないことによる懸念事項」や例の記述が、より深い理解の助けとなりました ・4章の各PAの説明順番も、理解し易い順序が考慮されている様に思えました。 ・CMMIによる改善活動を実施しているので、具体的イメージに結び付け易かったのかかん。
・CMMIは、P管理に携わっている者にとってはより現実に即した内容に思えたのでV1.1より取っ付き易い印象を受けました。私はCMM-V1.1を完全には理解していないのらが優れているかについては判断ができませんでした。
実施されない場合の懸念事項が記載されていることが良い。
分かりやすい言葉で記載されている。
共通プラクティスが実施されなかった場合の懸念事項が記述されている点。
主にゴールに絞って記述されていること。
文書内特有の言葉を、最初に定義(説明)している
概要を理解する上で、有用です。
入門用に書かれている点。
要点だけまとめられているので、比較的短時間で読みこなせる。
最初にキーワードの説明がされているが良い。
実施されない場合の懸案事項が記述されているので、必要性が分かりやすい。
目的、懸念事項等が明確に記述されている点、
・ボリュームが手頃である。
各項目、実施しない事による懸念事項は分かりやすくて良い。
正しく理解して欲しいキーワードで、規格書にありがちな難解な日本語の解釈を明確にする。誤解釈防止に役立つと思う。
各PAの説明において、” 実施されない場合の懸念事項 ” が理解を助けるのに役立つと

PAの詳細説明に掲載されている懸念事項が経験から裏づけされていると感じられる
り、理解しやすい。

各PAに対し、活動を実施しないことによる懸念事項が記載されているが、実施しない
りどのような問題が発生しうのかを理解する手助けとなった。また、全体的に平易な
述されているため読解が容易であった。

正しく理解して欲しいキーワードや、GG,GPの解説がとてもわかりやすかった。
各PAに関しても、原書の日本語訳も有り難いし、解説や懸念事項、例など理解を助け
なされていた。

実施されない(しない)場合の懸念点がそれぞれに書かれているので、非常にわかり易

- ・簡潔にまとめてあり、PA間の関係も述べられている

- ・実行されない懸念事項の記載

また、日本語版が少ない中、貴重な資料である

表B - 3 ガイドの悪かった点

入門書となっているが、ある程度理解している人（中級以上）向けではないか？
PAの関連図の中にはちょっとわかりづらいものもあったかなと思います。
一部、説明が不足しているところや、難しいと感じるところがありました。もう少し図で、やさしい言葉で書くとより分かり易くなるのではないかと思います。
入門書としては、若干難しいような気がします。
CMMIの全体像やPAの概要についてもう少し噛み砕いた説明があってもよいような気が（例えば、p.5-8の図には説明がほしい）
抽象的な表現での説明が多く、具体的なイメージがつかめなかった。
PA間の関連についての説明がほとんどなかった。
キーワードの説明では、抽象的な説明だけのものと具体的な説明が入ったものが混在し図が少なく、文字が多く、前後のつながりもなく、単調なので読みにくい。「やさしいらもう少し、興味を引き立てるような構成（物語ばいものなど）を工夫した方がよい」と
内容にばらつきがある。解説の詳細度や、例の有無など。例は出来る限り加えた方がよい。個別には以下：
・ P.3-定義されたプロセスの説明の第1文がわかりにくい。
・ P.5-8 - PAを示す の中に略語だけでなく和名も入れたほうがわかりやすい。入ってもある。
・ P.11-GP2.1の懸念事項のなかに誤記：「無意味なことをやらさせている」とい非稽
・ P.13-一番上の懸念事項の下から2行目は「実施されこと」「実施されたこと」
CMMIの構造（（PA、GP、GG）の関係）が分かりにくい。
PAの説明に図を用いて解析した方がよい。文字中心では「やさしく」ない。
説明がもう一段詳細化して欲しい。図が欲しい。やさしくない。
・ 3.1～3.7まで、図しかなく、どう言った特徴があるのかまた、BasicとAdvancedと相違説明がなく解り辛かった。
・ 全体的に具体例や図が少なく、書いている内容をイメージし辛かった。
IPPDの説明がなかった。やや、誤字・脱字が多い。BasicからAdvanceに移行するにはと
取り組めばよいかが、3項の説明では分からなかった。CMMとの対比というのがもし可
ば、そのような記述があると自分にとっては受け入れやすいと思う。
CMMとの違いを「ハードウェア開発プロセスとの融合」と聞いていたがどうなのでし
GG（共通ゴール）およびGP（共通プラクティス）の位置付けがよくわからない。
【字句訂正】p.21, 4.4 供給者合意管理（SAM）（誤）残念ながら（正）残念なが
ページ数が多くて読むのに飽きてる。Power Pointなどの資料があると読みやすいと思
アセスメントでは同じような内容でも、Power Pointを見ながら解説付きであったので
・ CMM(SW-CMM V1.1)との違いやCMMIの位置付け、経緯などの概要説明が欲しいと思
・ PAの関連図において、図以外に説明文が欲しいと思いました。本資料で取り上げら
いPAも図には含まれていますし。
・ 略語が覚えきれない。また、説明の無い略語があります。
・ 各PAとSGにもGG/GPの様な一覧表があると全体が把握しやすい様に思えます。
・ （内容とは直接関係ありませんが、誤字、脱字、理解できない文章が見られました）
PA関連図は読みにくい。
CMMを多少理解している人向けの記述である。（対象に記載すべき）
誤字 P12 GP2.5 専門知識を備えるさせる ...備えさせる
「正しく理解してほしいキーワード」は、そのキーワードが出現した位置に注釈として
くれるとありがたい。
・ 非常に読みづらい。本書は誰を対象に何を理解させようと意図したものが読みとれた
著者のメモのように感じた。少なくとも入門ガイドとはいえない。
もう少し、図を多様して分かりやすくして欲しい。
各PAに関わる人（部門）等が把握できる内容（別ガイドでも良いが）があればより分
相関図の中の言葉が短いとか、後述の詳細説明と結び付けられない。

直訳ではなく、わかり易い文書になると、もっと短時間に理解できると思う。ただ、他にも、わかりにくい文書が多い。

- ・ 3 章 (S E / S W / I P P D / S S) の説明がほしい。
- ・ 3 章の P A の全ての に日本語がほしい。
- ・ 4 . 1 の表で「 L e v e l 2 P A 」に列が 2 つあるが、違いが分からない。 G P 2 / 3、 L e v e l 2 / 3、 G G 2 / 3 の関連が分からない。
- ・ プロジェクト管理 / サポート / エンジニアリング / プロセス管理
B a s i c / A d v a n c e d
L 2 ~ 5
の仕組みが分からない。
S t a g e d / C o n t i n u o u s ? 等による取組み方があるなら
知りたいと思った。

このガイドが「やさしい」ということは...CMMIの書籍はもっと難しい、もしくは理解内容なのですか。

少々ながらCMMを理解しておりましたので、比較的スムーズに読めましたが、その予作くていきなりCMMI、というところすごく難しい内容だと思います。

このガイドをもとに各会社で理解する上で、少なからず時間が必要と思いました。

- ・ 各GPを実施する具体的な方法例があればよかったと思います。
- ・ 各PA間の関係図ですが、もう少し、補足があればわかりやすいかと思います。
- ・ 主語はだれでしょうか？。もし、活動する人によって内容が違うのであれば、それともよいと思います。
- ・ ガイドの第 2 編 CMMI 適用編を期待します。(各活動は理解した上での実践編。どこしたらよいか、具体例など)

P A 等の組織間の関連図において、 の線が円弧であったり、直線であったりした。スプライン等が望ましいと思われま。

活動事例が記述されておらず、各PAとも具体的にどのような活動を求めているのかわからない。既にCMMレベル3に取り組んでいる組織においては、インプリメンテーションの逆、深さが無さ過ぎるため、曲解・誤解を招く危険性も感じる。解り難い文章表現が多く。誤字・脱字。

日本語として理解しづらい部分がある。

誤字脱字がある。

CMMをある程度理解していれば読めるが、本当の初心者にはもう少し噛み砕かないと言

- ・ 日本語が翻訳調で理解しづらい。
- ・ 用語の説明に終始して、結局CMMIとは何か、どのように利用するのがよく判
- ・ CMMIを全く知らない人にとっては入門にはならないと思う。

用語の意味が難しく、理解しがたい箇所が多い。

図・表などビジュアル表現が少ない。

プロジェクト開発例(できれば組込で)をモデルにした場合で、順を追って解説願いた

「やさしい」との表題や、「1. はじめに」の内容からして、CMMの全体概略を簡単にしている事を期待しましたが、P A の内容解説に過ぎず期待値から外れたため。クイックスと表現したほうが良いかも知れません。また、3章の図で何を説明したいのか？意

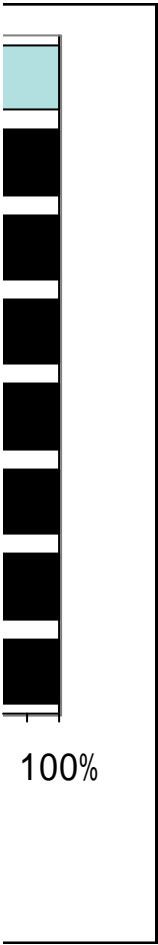
P A の関連図が見にくいと思います。本資料で取り上げないP A などについて、なぜ取いのか説明があるのではないのでしょうか？あと、P A 関連図に存在しないG G , G P ははじめに記載されていても関連がわかりません。誤字・脱字が若干あるかと思いました全体として非常に読みやすかったが、冒頭のP A 関連図だけでなく、個々のP A に対しを用いた解説があると、更に入門書として良いのではないかと思います。

全体を掴むこと(CMMにおけるTR24のような思想面)がなく、いきなり各論と感じた。なじみの薄いと思われる用語に対する解説が不十分に思えた。

関連図は苦勞されているが図の見方を含め、理解しづらいと感じた。

すべてのプロセスが記載されていない
(記載のプロセスで私は十分ですが)

CMMレベル3に取り組んでいる組織においては、CMMとの違いを感覚的につかむ事が
しかし、CMMに取り組んでいない組織におけるソフトウェアエンジニアリングのきつた
(本文書の目的)に有効であるとはいえない。



結果
<input checked="" type="checkbox"/> C - 1
<input checked="" type="checkbox"/> C - 2
<input checked="" type="checkbox"/> C - 3
<input checked="" type="checkbox"/> C - 4
<input checked="" type="checkbox"/> C - 5
<input checked="" type="checkbox"/> C - 6
<input checked="" type="checkbox"/> C - 7
<input checked="" type="checkbox"/> C - 8
<input checked="" type="checkbox"/> C - 9
<input checked="" type="checkbox"/> C - 1 4
<input checked="" type="checkbox"/> C - 1 4
<input checked="" type="checkbox"/> C - 1 5
<input checked="" type="checkbox"/> C - 1 6
<input checked="" type="checkbox"/> C - 1 7

図 C - 1 8

図 C - 1 0

図 C - 1 1

表 B - 1

表 B - 2

できまし
かったと
すくなっ

この着想

のか”と

かもしれ
あること

が良い

こ。

も知れませ

で、CMM-
で、どち

こしてい

こ思いま

表現があ
いことによ う文章で記
る工夫が
引いと思

例を多くし
します。
っている。 「入門」な と思う。 いいとおも
いるもの 極的・・
点などの
のように 能であれ
よう。
ば う。最終 っかりや ました。 ていな
記述して
い。
かりやす

他の書籍
しにくい 備知識が無
り書いてあ こから開始
理解しづ 用の参考書 が目につ
売めない。 らない。
さい。 直に説明し 7リファレ 図図をつか 取り上げな が第4章の こ。 っても図表
,

できる。 かけ作り